

7月17日は「北海道みんなの日」です

北海道の名付け親とされる松浦武四郎が、1869年(明治2年)、明治政府に「北加伊道(ほっかいどう)」という名称を提案した7月17日は、「北海道みんなの日」、愛称「道みんなの日」です。

北海道の魅力と価値を再発見し、北海道を誇りに思う心を育み、より豊かな北海道を築き上げることを期する日として平成29年に制定しました。

この日をきっかけに、道民の皆様には北海道に愛着や誇りを持っていただき、北海道の魅力を発信する機会としていただければ幸いです。



釣り人・マリナーレジャー愛好家のみなさまへ

7月16日(日)～8月31日(木)までの間、夏季安全推進活動期間です。

重点事項

- ・遊泳者に対する事故防止
- ・プレジャーボートに対する海難防止
- ・SUP(スタンドアップパドルボート)に対する事故防止

海で安全に楽しむために次のことを守りましょう。

- ▽釣り中はライフジャケットの常時着用と正しい装着!
- ▽携帯電話は防水ケースに入れて、緊急時の連絡手段を確保!

- ▽釣り場に適した滑らない靴の着用!
- ▽釣り中は、海に落ちないように足元注意!
- ▽天候が悪化したら早めに帰宅!
- ▽遊泳は監視員がいる海水浴場で!
- ▽家族に行き先と帰宅時間を告げる!

事故に遭ってしまった、または事故を見かけた場合は海上保安庁直通の緊急ダイヤル「118」番、「海のもしもは118番」にご連絡ください。



海上保安庁シンボルマスコット「うみまる」

稚内海上保安部 交通課 0162-24-8810

気象台一口メモ

楽しみな花火大会・・・でもお空のご機嫌が

夏の楽しみに花火大会がありますが、日中は晴れて「今日は花火日和だあ。よかった。」と思っても、夜になると、低い雲が入ってきて花火の上半分が見えなくなった経験がある方もいらっしゃるかと思います。

夏の日本列島は、太平洋に中心を持つ高気圧に覆われることにより、風が弱く晴れる日が多くなります。ただし道北地方は、このような高気圧の縁に当たることが少なからずあり、そのようなときは南西からの暖かく湿った風が吹き込みます。海水との温度差のため、低い雲が発生し陸地に入りやすくなり、風が強まることもあります。

また、オホーツク海に中心を持つ高気圧があるときは、冷涼な空気とともに発生した低い雲が東よりの風とともに陸地に入ってくることがあり、どちらの場合も霧となることがあります。

気象庁が発表している、天気予報・天気分布予報・地域時系列予報では天気と共に風の向きや強さを概略で、警報・注意報では現象発生に伴う警戒・注意事項をお伝えしていますので、花火大会の日に限らず、大切な日には天気予報をご利用になり計画にお役立てください。

せっかくの花火大会ですから、雲一つない夜空に大輪の花を咲かせたいものですね。

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話 0162-23-2679